

エコアクション21

環境経営レポート



2023年度

運用期間 2023年3月～2024年2月

株式会社清水組

2024年 3月31日 発行

【 目 次 】

表 紙	P-1
目 次	P-2
1. 事業概要	P-3
1) 事業者名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び事務局、担当者・連絡先	
4) 事業創立年月日	
5) 事業活動の内容	
6) 事業規模	
7) 推進組織図	
8) 対象範囲	
2. 環境経営方針	P-4
3. 環境経営目標	P-5
4. 環境経営目標の実績	P-6
5. 環境経営計画と取組結果とその評価	P-7
6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	P-9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-9

1. 組織の概要及び対象範囲

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 清水組
代表取締役 清水 三郎

2) 所在地

本社事務所 〒885-1205 宮崎県都城市高城町石山253番地
資材置場 〒885-1205 宮崎県都城市高城町石山260番地

3) 環境管理責任者及び担当者氏名・連絡先

EA-21 責任者 : 巢立 慎二
EA-21 事務局 : 巢立 慎二
工事部門責任者 : 森 尚二
総務部門責任者 : 巢立 慎二

連絡担当者 : 巢立 慎二 (EA21責任者)
TEL 0986-58-2004 FAX 0986-58-5828
E-meil : ksmzg@tempo.ocn.ne.jp

4) 事業創立年月日

昭和 39年 7月 1日 [創業より 59年]

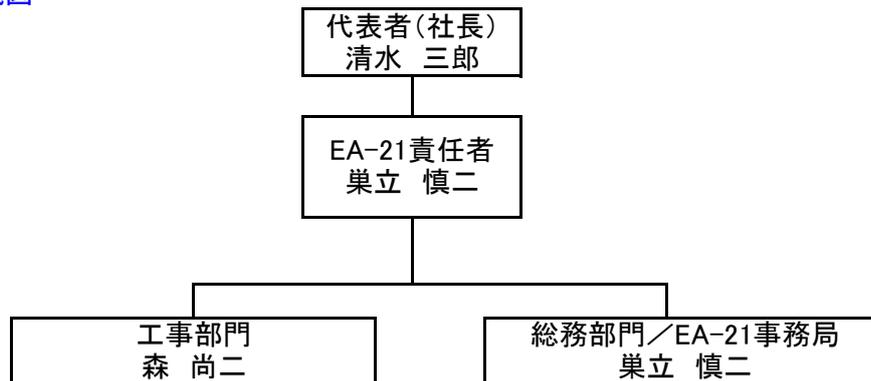
5) 事業活動の内容

建設業 (土木工事業、建築工事業、管工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業)

6) 事業規模

項目	単位	2021年	2022年	2023年
工事件数	件	50	47	58
売上高	百万円	551	396	391
従業員数	人	16	16	14
床面積	m2	155	155	155
敷地面積	m2	1135	1455	1455

7) 推進組織図



8) 対象範囲 [全組織・全活動]

認証登録範囲 対象組織 : 本社事業所及び資材置場
対象活動 : 建設業 (土木工事業、建築工事業、管工事業、水道施設工事業、とび・土工工事業、舗装工事業)

レポート対象期間 表紙に掲載
レポート発行日 表紙に掲載

2. 環境経営方針

環境経営方針

株式会社清水組は、積極的に環境問題を認識し、優先課題と位置付けて、当社の事業活動のあらゆる分野で、自主的、積極的に環境保全に取り組み、循環型社会の構築に努め、持続可能な社会の実現に貢献致します。

1. 株式会社清水組は、建設工事、土木工事の事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体地域の要請に協力します。
3. 当社の事業活動に於いて、環境に与える影響を削減するため次の事項に対して優先的に取り組みます。
 - ① 化石燃料、電気使用量の節減による、二酸化炭素排出量の削減
 - ② 事業活動工程から排出される廃棄物の削減
 - ③ 節水活動による水使用量の削減
 - ④ 環境に配慮した施工計画や材料等の研究、提案を積極的に行います
4. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。
5. 次世代の建設業を担う人材育成に努めます。

この環境経営方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

令和02年4月01日 改定
平成24年2月25日 制定
株式会社 清水組

代表取締役 **清水三郎**

3. 環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。
 なお、目標設定の基準は2020年度(20年3月～21年2月)のデータを使用しています。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年度別環境目標				
		基準値 2020年度実績	2021年度 (2021年3月～ 2022年2月)	2022年度 (2022年3月～ 2023年2月)	2023年度 (2023年3月～ 2024年2月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	5,271.4	5,166.0	5,155.5	5,139.7	
	現場	192,774.1	188,918.6	188,533.1	187,954.7	
	全社	198,045.5	194,084.6	193,688.6	193,094.4	
			*削減率%⇒	2.0	2.2	2.5
	①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	3,099.0	3,037.0	3,030.8	3,021.5
		現場	0.0	0.0	0.0	0.0
		全社	3,099.0	3,037.0	3,030.8	3,021.5
			*削減率%⇒	2.0	2.2	2.5
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	1,776.6	1,741.1	1,737.5	1,732.2
		現場	9,057.4	8,876.3	8,858.1	8,831.0
全社		10,834.0	10,617.4	10,595.6	10,563.2	
		*削減率%⇒	2.0	2.2	2.5	
③軽油使用量の削減 (L)	事務所	0.0	0.0	0.0	0.0	
	現場	66,574.0	65,242.5	65,109.4	64,909.7	
	全社	0.0	65,242.5	65,109.4	64,909.7	
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg)		*削減率%⇒	2.0	2.2	2.5
	全社	30.0	29.4	29.3	29.3	
	②. 建設副産物再生率向上 (リサイクル率向上)	現場	295.1トン [R率93.1%]	環境経営計画を遵守し 再生率を向上する(目標95.0%以上)		
3. 水資源使用量の削減 (m ³)			*削減率%⇒	2.0	2.2	2.5
	事務所	66.0	64.7	64.5	64.4	
	現場	0.0	0.0	0.0	0.0	
	全社	66.0	64.7	64.5	64.4	
4 境有活益 動な環	①. 環境配慮型製品・ サービスの提供	全社	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守
	②. 環境ボランティア活動の 取組推進	全社	5回	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年

*2021.4.1 改訂・2020年度実績を基準値として、第四次中期の目標値を設定した。
 ・削減率は、2021年度2.0% 2022年度2.2% 2023年度2.5%で取り組む。
 ・電気のCO₂排出係数は、2021(R03).1.7 公表・九州電力の調整後排出係数の
 0.371(kg-CO₂/kWh)を採用した。
 ・現場の電気使用量、事務所の軽油使用量は極めて少ないため、それぞれ事務所、現場に統合した。
 ・化学物質の使用、購入、保管、移動ともありません。
 ※二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定した (排出量(kg-CO₂) = 使用量(A) × 排出係数(B))

	単位	使用量(A)	排出係数 (B)
購入電力	kWh		0.371 (kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	L		2.32 (kg-CO ₂ /L)
軽油	L		2.58 (kg-CO ₂ /L)

4. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

実績値は、2023年度運用期間(3月～2月)の1年間で、目標値は基準年度(2020年度)の同期間の削減率とする。

取組項目		実施区	2023年度目標値 (2023年3月～ 2024年2月)	2023年度実績 (2023年3月～ 2024年2月)	達成率	判定	
省エネルギー項目	1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	削減目標	193,094.4 kg-co2	186,662.9 kg-co2	103.4%	○	
	①電気使用量の削減 (kWh)	2020年比 2.2%削減	事務所	3,021.5	2,788.0	108.4%	○
		現場	0.0	0.0	—	—	
		全社	3,021.5	2,788.0	108.4%	○	
	②ガソリン使用量の削減 (L)	2020年比 2.2%削減	事務所	1,732.2	0.0	—	—
		現場	8,831.0	8,539.2	103.4%	○	
		全社	10,563.2	8,539.2	123.7%	○	
	④軽油使用量の削減 (L)	2020年比 2.2%削減	事務所	0.0	0.0	—	—
		現場	64,909.7	64,270.4	101.0%	○	
		全社	64,909.7	64,270.4	101.0%	○	
2. 廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	2020年比 2.2%削減	全社	29.3 Kg	25.0 kg	117.0%	○
	②建設副産物再生率の向上	②建設副産物の再生率向上	現場	環境経営計画を遵守し再生率95%以上	再生率96.2% (排出量637.5トン)	101.5%	○
3. 水資源使用量の削減 (m ³)	2020年比 2.2%削減	全社	64.4m ³	54.0 m ³	119.2%	○	
4. 環境活動 ・有益な	①環境配慮型製品・サービスの提供	環境経営計画の遵守	全社	環境経営計画の遵守	遵守	—	○
	②環境ボランティア活動の取組推進	事務所・現場周辺の清掃、ボランティア活動	全社	3回以上	3回	100.0%	○

※ 購入電力のCO₂排出係数は、九州電力の調整後0.371(kg-CO₂/kWh)を使用しました。

※環境経営目標の達成状況〔分析・評価〕

二酸化炭素排出量削減目標は、省エネ項目及び全社CO₂削減において達成できた。しかし、建設副産物の再資源化は現場の条件で少量の最終処分が発生したものの、資源再生率目標は達成できた。特に、環境負荷の大きい軽油、ガソリン、電気などの使用量削減は達成したことを評価する。なお、今後現場の仕事量や施工内容等により達成状況は大きく変わりやすいが、省エネ性能の高い機械の使用や効率の良い施工方法等により今後も環境経営目標の達成に努めたい。

5. 環境経営計画と取組結果とその評価

2023年3月1日から～2024年2月29日までの環境経営計画とその取組結果及び評価です。

取組項目		活動内容	取組み結果	評価
1・二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②空調温度管理(設定温度遵守) ③パソコンのオート電源オフ設定 ④扇風機の併用や外気の調整等でエアコンの利用の抑制	前年まで現場の電気使用量は極めて少なく当年度からの第四次中期では現場で使用する電気は事務所に合算したが、目標は達成できた。	○ ○ ○ ○
	②ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②車内の不要物を積んだまま走行禁止 ③効率の良い配車・相乗りの推進	全社員が目標達成の意識等でほぼ達成することができた。	○ ○ ○
	③軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②車内の不要物を積んだまま走行禁止 ③重機の定期点検整備の実施 ④効率の良い配車・相乗りの推進	当年度は全社員の意識により、目標達成できた。	○ ○ ○ ○
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①使い捨て製品使用の抑制 ②ゴミの入口管理の徹底 ③コピー用紙などの節減 ④コピートナーカートリッジの業者持帰り依頼	エコ活動の取り組み等の結果、目標を達成することができた。	○ ○ ○ ○
	②建設副産物再生率の向上(再生率95%以上)	①産廃委託契約の履行 ②廃棄物の分別 ③資材包装物の業者持ち帰り依頼	環境経営計画を遵守しているが、現場の受注条件等により、再生率は達成しない場合もある。	○ ○ ○
3. 水資源使用量の削減(年間水資源総使用量)		①定期的な漏水点検 ②蛇口付近に「節水」のシールを貼り節水の意識を向上させる ③手洗い時の流し水を短くする ④雨水の貯留利用促進	年間を通して節水に努め目標達成できた。	○ ○ ○ ○
4. 環境活動	②環境型製品・サービスの提供	【環境活動計画の遵守】 ①最新型環境配慮型建設機械の使用 ②しっかりとした工程管理で工期短縮に取り組む	工事現場では常に環境に配慮して作業をしている。	○ ○
	③環境ボランティア活動の取組推進	①事務所周辺の清掃活動 ②現場周辺の清掃活動 ③地域や業界、団体等の環境ボランティア情報の把握	今年度は、積極的に参加し目標達成できた。	○ ○ ○

6. ① 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度(2024年度)の環境経営目標は次のページ(P-8-2)に第五次中期(2024年度～2026年度)を掲載しています。

* 実施期間は、3月から2月です。

取組項目及び全社目標		活動計画	推進部門 責任者	
1. 二酸化炭素排出量の削減 全社 (kg-CO2)		①省エネ活動の推進	EA21 責任者	
	省エネルギー項目	①電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②空調温度管理(設定温度遵守) ③パソコンのオート電源オフ設定 ④扇風機の併用や外気の調整等でエアコンの利用の抑制	事務所 現場
		②ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②車内の不要物を積んだまま走行禁止 ③効率の良い配車・相乗りの推進	事務所 現場
		③軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②車内の不要物を積んだまま走行禁止 ③重機の定期点検整備の実施 ④効率の良い配車・相乗りの推進	事務所 現場
2・ 廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①使い捨て製品使用の抑制 ②ゴミの入口管理の徹底 ③コピー用紙などの節減 ④ポーターカートリッジの業者持帰り依頼	全社	
	②建設副産物再生率の向上(%)	①産廃委託契約の履行 ②廃棄物の分別 ③資材包装物の業者持ち帰り依頼	現場	
3. 水資源使用量の削減		①定期的な漏水点検 ②洗車時のこまめな蛇口の開閉 ③手洗い時の流水を短くする ④雨水の貯留利用促進	事務所	
4・ 有益な環境活動	①環境配慮型製品・サービスの提供	【環境経営計画の遵守】 ①最新型環境配慮型建設機械の使用 ②しっかりとした工程管理で工期短縮に取り組む	全社	
	②環境ボランティア活動の取組推進	①事務所周辺の清掃活動 ②現場周辺の清掃活動 ③地域や業界、団体等の環境ボランティア情報の把握	全社	

特記: 活動計画は、会社の状況等により不具合が発生したら途中に見直すこともあります。

6. ② 第五次中期環境経営目標は以下の通りです。

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。

なお、目標設定の基準は2023年度(2023年3月～2024年2月)のデータを使用しています。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年度別環境目標				
		基準2023年度 実績	2024年度 (2024年3月～ 2025年2月)	2025年度 (2025年3月～ 2026年2月)	2026年度 (2026年3月～ 2027年2月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	1,324.3	6,403.5	6,390.5	6,371.1	
	現場	185,628.6	21,810.8	21,766.8	21,700.7	
	全社	186,952.9	28,214.3	28,157.3	28,071.8	
			*削減率%⇒	1.0	1.2	1.5
	①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	2,788.0	2,760.1	2,754.5	2,746.2
		現場	0.0	0.0	0.0	0.0
		全社	2,788.0	2,760.1	2,754.5	2,746.2
			*削減率%⇒	1.0	1.2	1.5
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	0.0	0.0	0.0	0.0
		現場	8,539.2	8,453.8	8,436.7	8,411.1
全社		8,539.2	8,453.8	8,436.7	8,411.1	
		*削減率%⇒	1.0	1.2	1.5	
③軽油使用量の削減 (L)	事務所	0.0	0.0	0.0	0.0	
	現場	64,270.4	63,627.7	63,499.2	63,306.3	
	全社	64,270.4	63,627.7	63,499.2	63,306.3	
2 廃棄物の削減			*削減率%⇒	1.0	1.2	1.5
	①. 一般廃棄物の削減 (kg)	全社	25.0	24.8	24.7	24.6
	②. 建設副産物再生率向上 (リサイクル率向上)	現場	663.0トン [R率96.2%]	仕様書通りの廃棄を遵守し リサイクルを向上する(目標95.0%以上)		
3. 水資源使用量の削減 (m ³)			*削減率%⇒	1.0	1.2	1.5
		事務所	54.0	53.5	53.4	53.2
		現場	0.0	0.0	0.0	0.0
		全社	54.0	53.5	53.4	53.2
4 境有益活動な環	①. 環境配慮型製品・サービスの提供	全社	環境経営計画の遵守	環境経営計画の遵守	環境経営計画の遵守	環境経営計画の遵守
	②. 環境ボランティア活動の取組推進	全社	3回	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年

*2024.4.1 改訂点 ・2023年度実績を基準値として、第五次中期の目標値を設定した。

・削減率は、2024年度1.0% 2025年度1.2% 2026年度1.5% で取り組む。

・電気のCO₂排出係数は、2023(R05).12.22 公表・九州電力の調整後排出係数の0.475(kg-CO₂/kWh)を採用した。

・現場の電気使用量、事務所の軽油使用量は極めて少ないため、それぞれ事務所、現場に統合した。

・化学物質の使用、購入、保管、移動ともにありません。

※二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定した (排出量(kg-CO₂) = 使用量(A) × 排出係数(B))

	単位	使用量(A)	排出係数 (B)
購入電力	kWh		0.475 (kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	L		2.32 (kg-CO ₂ /L)
軽油	L		2.58 (kg-CO ₂ /L)

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る環境関連法規は、担当者が定期的にWeb(環境省ホームページ環境基準・法例等)の改定履歴や建設業協会等からのお知らせ等から年次の運用開始時に見直しと取り纏めを行ってます。

尚、環境関連法規の遵守状況確認を毎年4回実施しており、違反はありませんでした。

また、地域住民からのクレーム及び訴訟等はありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。

〔当社の主な環境関連法規と遵守状況は下記の通りです。〕

主な関連法規名	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法(廃掃法)	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2,D票90日E票180日以内) A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、『再資源化により得られた資材』の使用	遵守
フロン排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施 (建設機械搭載のエアコンを含む)	対象有り (遵守)
	・解体工事における解体前フロン類機器設置有無の確認、発注者への書面説明 ・第1種フロン類充填回収者への引き渡し	該当なし
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守 該当工事なし
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守 該当工事なし

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価と指示 (○当年度の評価、●次年度への指示)
①環境経営計画の実施状況 及び 環境経営目標の達成状況	○計画の実施状況は、環境経営計画(兼)実施状況評価表で確認した、計画はほぼ実施され、目標達成に繋がったと評価します。 ●次年度(2024年度)も継続活動していただきたい。 *-----* ○目標達成は、環境経営目標達成状況管理表等で確認した。建設副産物の再資源化は2024年1月のみ現場の条件で最終処分が発生したため100%達成は出来なかったが、その他は達成したことを評価する。 ●次年度(2024年度)も目標や環境経営計画を更に周知して活動していただきたい。
②環境関連法規等の遵守状況	○環境関連法規の取り纏め(兼)遵守評価表で確認した、当社に関連する法規等は取り纏めされ遵守している。 ●今後も遵守して業務を遂行していただきたい。
③外部からの環境に関する 苦情や要望等	○環境情報記録表で確認した、当年度は苦情、クレームが無かったこと、ボランティア活動へも参加したことを評価する。 ●次年度は、外部とのコミュニケーションは十分とりながら事業活動を継続していただきたい。
④環境経営方針	○2020年度から環境経営方針を一部改定したが、特に不具合は無かった。 ●次年度も現行の方針を継続する。
⑤実施体制	○特に不具合は無かった。 ●次年度も現行の実施体制を継続する。
⑥その他全般に関して	特になし